

平成 24 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	35	文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む	評価責任者 (基本施策主管課長)	企画財政部企画課長 藤山 善之
生活課題	豊かな文化・芸術に触れることができる		生活課題に対する満足度 H27目標値	54.0 %

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系		基本目標	意欲
		政策	生涯を通じて生きがいがあるまちづくり
①	市民意識調査結果	<p>市民意識調査では、基本施策における生活課題として「豊かな文化・芸術に触れることができる」に対する満足度は28.3%で全体の平均より若干上回っているものの、昨年度から4.8ポイントのマイナスとなっている。また、基本施策「文化・芸術により、豊かな感性と創造力を育む」に対する必要度は73.4%で平均を下回っている結果となっている。</p>	②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果
		参考	満足度（満足意識） 28.3 % 必要度 73.4 %
③	基本施策の現状と課題	①文化芸術活動におけるつくり手と受け手をつなぐ人材が不足していることからそれらの人材育成が必要である。 ②文化芸術の活動の場の提供と支援が必要である。 ③市民各層における文化芸術意識の高揚と文化振興施策の充実が必要である。 ④市民が気軽に利用できる文化活動や歴史文化の拠点となる施設整備が必要である。	
④	基本施策の意図、今後の展望	芸術文化は、活気と個性あふれるまちづくりを構築するうえでも大きな役割を果たすものであることから、市民一人ひとりが気軽に文化芸術に触れられる場や機会をつくり、文化芸術の担い手となる人材の育成や更なる意識の高揚と豊かな感性を育むことで文化の裾野を拡大し、地域の歴史・文化を活かした文化芸術の振興を目指すものとする。 ①俳句のくにづくり拠点施設整備(新芭蕉翁記念館) ②松尾芭蕉翁などの先賢顕彰事業 ③市民の自主的な芸術文化活動の支援と活動の成果を発表する場の提供 ④市民が気軽に参加できる文化事業の推進と文化活動施設の運営	

⑤ 基本施策指標（総合計画数値目標）

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度			目標値	指標の説明
		H22	H23	H24	H25	H27		
1 新芭蕉翁記念館整備事業の進捗率	目標	%	0.2	0.2	10.0	20.0	100.0	事業の進捗率
	実績	%	0.2	0.2				
	達成率	%	100.0	100.0				
2 芭蕉翁顕詠俳句投句数(一般)	目標	句	19,000.0	11,000.0	11,000.0	11,000.0	11,862.0	芭蕉翁顕詠での投句数
	実績	句	9,910.0	9,978.0				
	達成率	%	52.2	90.7				
3 市民美術展覧会出展件数	目標	件	218.0	170.0	170.0	170.0	173.0	市民美術展覧会出展件数
	実績	件	148.0	167.0				
	達成率	%	67.9	98.2				
4 市民文化祭参加者数	目標	団体	112.0	100.0	100.0	100.0	100.0	年間市民文化祭参加者数
	実績	団体	93.0	73.0				
	達成率	%	83.0	73.0				
5 伊賀市文化会館ホール使用回数	目標	回	154.0	137.0	137.0	137.0	137.0	文化会館使用回数(年間)
	実績	回	116.0	126.0				
	達成率	%	75.3	92.0				
6 市民活動団体数	目標	団体	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	文化芸術協会に所属の市民活動団体数
	実績	団体	70.0	70.0				
	達成率	%	100.0	100.0				
	目標							
	実績							
	達成率	%						
	目標							
	実績							
	達成率	%						

⑥ 基本施策構成事務事業の評価

基本施策を構成する事務事業名	担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			基本施策貢献順位
					H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
1 企画財政部企画課		94-1	文化振興一般経費(だんじり・鬼行列運営助成金)	無	9,090	9,090	9,090	6
2 企画財政部企画課		94-2	文化振興一般経費(市民管弦楽団運営補助事業)	無	1,020	1,020	1,020	9
3 企画財政部企画課		95	美術展覧会運営経費(市民美術展覧会)	有	3,023	3,510	3,231	4
4 企画財政部企画課		96	文化祭開催経費	有	2,940	2,940	2,940	5
5 伊賀支所振興課		97	先賢顕彰事業	無	397	312	312	10
6 企画財政部企画課		100-3	都市間交流推進事業(カシオペアの会)	有	1,440	1,440	1,440	11
7 企画財政部企画課		102	俳句のくにづくり拠点施設建設事業(仮称 芭蕉翁記念館)	無	2,374	2,408	50,535	1
8 企画財政部企画課		103	芭蕉祭執行等経費	無	13,448	13,910	13,910	2
9 企画財政部企画課		104	しぐれ忌執行等経費	無	1,740	1,740	1,740	3
10 企画財政部企画課		106	俳句啓発推進事業	無	2,899	2,928	2,928	7
(以下 続 紙)								
事業費合計					39,996	41,000	88,848	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業(総合計画実施計画の期間内に実施を予定する事業)

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策指標の実績に関しては、一定の数値として確保できるが、文化芸術の人材育成が進まないことから目標達成数値の伸びは見込めない状況である。これを増やしていくには、文化団体の交流などによる市民各層での文化芸術意識の高揚と文化の裾野の拡大として子ども世代から文化芸術に触れることができる文化施策の充実と展開が必要である。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	文化芸術の振興には、社会の成熟化・多様化を背景とした活気と個性があふれるまちづくりのためにも市民一人ひとりの意識の高揚のため一定の行政支援は欠かせないと思われる。しかし、文化芸術の継承面では高齢化による不安が大きく、新たな手法を取り入れた事務事業の検討が必要であると考えられる。
3 役割分担の妥当性	法人や団体への委託金や補助金による事業が主である。委託や補助していても、これまでの慣例により行政が中心となっている事業もあることから、団体等が市民の自発的で自主的な文化活動と役割分担の中での行政支援であることの認識が必要と考えられる。
4 総合評価(今後の方向性、事業の見直しについて等)	伊賀市という文化歴史に恵まれた地域性を活かした文化力の向上を目指し、幅広い年齢層の市民が、多くの文化芸術に触れることができる環境づくりと、市民一人ひとりの文化芸術に対する意識の高揚、更に事務事業の運営等の見直しを行うことにより、さらに充実した施策としたい。また、文化振興事業にかかる費用対効果については評価として表しにくいですが、財政的なことも考慮した中で事業の役割分担を検討し、効率よく事業の展開を図っていきたい。

㊦ 基本施策構成事務事業の評価（続紙）

	基本施策を構成する事務事業名			改善余地の有無	事業費（人件費込、単位：千円）			基本施策貢献順位
	担当課	I D	事業名		H23 決算額	H24 予算額	H25 所要額	
11	伊賀支所 振興課	107	俳句啓発推進経費	無	1,625	1,702	1,702	8
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
事業費小計					1,625	1,702	1,702	